

第6回 国分寺街道及び国 3・4・11 号線周辺まちづくり協議会議事録

日 時：平成 30 年 7 月 11 日（水） 午後 2 時 00 分～4 時 00 分

場 所：リオンホール（cocobunji WEST5 階）

出席者：（協議会委員/五十音順 敬称略）

江守 央	大澤 康雄	小笠原 鐵治	川口 幸子
小林 治	塩野目 龍一	豊田 淳子	原 俊男
藤原 大	本多 隆	宮下 清栄	森下 和仁
和田 淳			

事務局：国分寺市まちづくり部まちづくり推進課

- 次 第：
1. 開会
 2. 報告事項
 - (1) 中間報告会（第 3 回懇談会）について
 - (2) 第 4 回懇談会について
 3. 検討事項
 - (1) 平成 30 年度の検討スケジュールについて
 - (2) 国分寺街道周辺エリアのまちのにぎわいの創出の検討
 4. 閉会

配布資料

- ・資料 1：第 6 回国分寺街道及び国 3・4・11 号線周辺まちづくり協議会 PPT 資料
- ・資料 2：平成 30 年度 国分寺街道及び国 3・4・11 号線周辺まちづくり協議会スケジュール案
- ・資料 3-1：第 4 回懇談会で出た意見のまとめ
【国分寺街道沿道のふさわしいにぎわいとは】
- ・資料 3-2：第 4 回懇談会，これまでの協議会で出た意見のまとめ
【国分寺街道沿道のにぎわいの創出】
- ・参考資料 1：国分寺街道及び国 3・4・11 号線周辺まちづくり協議会 委員名簿
- ・参考資料 2-1：国分寺街道及び国 3・4・11 号線周辺まちづくり 中間報告
- ・参考資料 2-2：第 3 回国分寺街道及び国 3・4・11 号線周辺まちづくり懇談会
中間報告会 議事録
- ・参考資料 3-1：第 4 回国分寺街道及び国 3・4・11 号線周辺まちづくり懇談会
配布資料
- ・参考資料 3-2：第 4 回国分寺街道及び国 3・4・11 号線周辺まちづくり懇談会
議事録
- ・参考資料 4：第 5 回国分寺街道及び国 3・4・11 号線周辺まちづくり協議会 議事録

【議 事】

1. 開会 会長の開会宣言により協議会が開会。

2. 報告事項

(1) 中間報告会（第3回懇談会）について

事務局より、参考資料 2-1, 2-2 に沿って、中間報告会（第3回懇談会）について報告。

(2) 第4回懇談会について

事務局より、参考資料 3-1, 3-2 に沿って、第4回懇談会について報告。

3. 検討事項

(1) 平成30年度の検討スケジュールについて

事務局より、資料 2 に沿って、平成30年度のまちづくり協議会及び懇談会のスケジュール案について説明、了解を得た。

(2) 国分寺街道周辺エリアのまちのにぎわいの創出の検討

①検討内容の説明

事務局より、資料 1, 3-1, 3-2 に沿って、検討内容について説明。にぎわいの創出の参考事例や、第4回懇談会、これまでの協議会で出た意見の紹介を行った。

②グループ検討

3グループに分かれて、国分寺街道周辺エリアのまちのにぎわいの創出について検討を行った。（検討内容は、別紙を参照）

③グループ発表

グループごとに意見の内容を発表。

<Aグループ>原委員・森下委員・宮下委員・塩野目委員

発表者：森下委員

国分寺街道にふさわしいにぎわいについて、現在、明星学苑の生徒たちは通学路として、国分寺街道ではなく、裏道を使っていて、その道の途中にある「コロッケ屋の丸愛」は非常ににぎわっています。また、国分寺市に2つしかない

お風呂屋のうちの1つである桃の湯があります。

また、東京経済大学や東京学芸大学の学生が、ボランティアセンターの人達と地域で色々なことにボランティアで取り組んでいるので、そういった活動を活かそうという意見がでました。

こくベジ市場があったり、飲み屋があれば、人が歩いてくるのではないかという意見が出ました。また、第4回懇談会では、東京経済大学の学生から国分寺街道にお店があれば来てみたい、という話もあったことで、力強く感じています。

取組みについて、にぎわいを創出するといっても地区全体を対象とするのは大変という意見が出ました。地区内には、さわやかプラザもとまち、もとまち児童館、もとまち公民館、もとまち図書館、もとまち保育園などの施設が集積しています。福祉とまちづくりの連携が必要なのかなと思います。次世代も期待できると私自身は考えています。

桃の湯の活用が重要になってくると思います。また、地主さんに働きかけて学生や、やる気のある人に、空き店舗を安く使わせることによりにぎわいを創出できるのではという意見が出ました。

現在、明星学苑の生徒が使っている国分寺街道の裏の道は、防犯上、危なく、商店も「コロッケ屋の丸愛」を除いてほとんど何もない道なので、国分寺街道が安全な道として整備されれば、自然に国分寺街道を歩くようになるのではないかという意見が出ました。

<Bグループ>和田委員・小笠原委員・川口委員・大澤委員

発表者：和田委員

国分寺街道にふさわしいにぎわいについては、観光客がくるようなにぎわいと、地域の方が住んでいて楽しいねという2種類のにぎわいがあるという意見が出ました。観光資源としては、既存の商店、橋、水路などがあり、住んでいる方には、農産物の直売所のような場所があることがにぎわいに結び付くのではないかという意見が出ました。

取組みについては、空き家問題の話が出ました。空き店舗のオーナーが利活用にあまり積極的ではないケースが多いようです。空き店舗を、直売所として活用したり、東京経済大学、明星学苑、東京学芸大学等の学生が利用できるような取組みをするべきという意見が出ました。八王子市の道の駅のように、こくベジを販売できるような場所をつくる。そして、そこに行くための多様な交通手段（徒歩・自転車・バス等）を使えるように考える必要があるという意見が出ました。「地区内には集まる場所があるようでない」という話もあり、国分

寺街道の入口（北側）、真ん中（不動橋・一里塚バス停付近）、南側（府中市境）の3か所に、人が集まる場所が確保できればよいのではという意見が出ました。以上です。

<Cグループ> 豊田委員・本多（隆）委員・小林委員・江守委員・藤原委員
発表者：江守委員

にぎわいの議論で、時系列として短期的・中期的・長期的な話が織り交ざってしまったので、まとまりがつかないところがあります。事例紹介にあったコミュニティ・プロジェクトは点の整備ですが、国分寺街道の議論としては、線の議論をしなければなりません。拠点をつくらないと線が生きてこないという話のなかで、拠点の具体的なアイデアは出ませんでした。いずれにしても、短期的には、地域の歴史的環境、メディアにも出ているお店などをネットワークしてつないでいくようなにぎわいのイメージを持っています。中長期的には、自転車のシェアリングができるまちになり、地域の人々が住民特典として利用できるようになるという意見が出ました。私の提案ですが、バスが自動運転で運行するようになることも想定されるので、そういうことを地域として受け入れられる土壌をつくっておくことが、にぎわいにつながるという議論をしました。

そのほか、ネットワークをつくる時に重要になってくるのはトイレという話があって、トイレは色々な作り方が考えられます。将来的にはコンビニのトイレを公共のトイレとして位置づけることも考えられます。理想としては、商店街としてトイレを所有し、商店街で管理して、来訪者たちを招き入れるような場所をつくっていけるといいという意見が出ました。

この地区に住んでいる人たちは、府中方面へ買い物等に行く人が多いという話を聞いて少し驚いています。国分寺側へも来てもらえるような戦略が必要になってくると思います。以上です。

4. 閉会

（事務連絡）

事務局より、今後の予定について説明。

- ・第7回協議会 8月28日（火）10時～ cocobunji プラザ・リオンホール

以上